総合図書館LSセミナー
学問の広場

文学と哲学
～叙事詩『オデュッセイア』と『啓蒙の弁証法』～

――文学と哲学の交差地点

2026年12月3日（木）13：30～15：00（90分）
@総合図書館C棟2階グローバル・コモンズ

定員10名程度（対面のみ）　予約制
※定員に空きがある場合に限り、当日の飛入り参加も可能です

【セミナーの内容】

新訳版刊行や映画公開など、いま注目される古代ギリシャの英雄譚『オデュッセイア』。その『オデュッセイア』を題材に哲学思想を展開した戦後ドイツの思想家、ホルクハイマーとアドルノ。

本セミナーでは、2人の哲学者による著作『啓蒙の弁証法』における『オデュッセイア』の描かれ方について学び、文学と哲学の関係について参加者とともに考えていきます。

【当日の流れ】

①テキストに触れる：『オデュッセイア』の一部をその場で参加者とともに読みます。
②LSによるミニ講義
③ディスカッション：参加者の皆さんで気になったことや疑問点について話し、文学と哲学の関係について考えていきます。



文学好きも、**哲学好き**も、
未読者も**初心者**も大歓迎！
事前準備不要・資料配布あり

申し込みは
こちら→

担当：図書館LS主藤（人文学研究科）
問い合わせ：総合図書館学習・調査支援担当
tosyo-sogo-sanko@office.osaka-u.ac.jp